

第 172 回ユネスコサロン報告

期日 平成 29 年 9 月 9 日 (土)

演題 「世界遺産第 1 号 ガラパゴス諸島 ～驚きと感動の出会い～」

講師 日本ガラパゴス研究会 (JAGS) 役員

広島ユネスコ協会理事

政木恵美子さん



ガラパゴス諸島???

初めて耳にする名前に驚いたり、赤面したり、好奇心が芽生えたり、しばらくは???)が続いた。ガラパゴス諸島は南米エクアドルから西 900 km に位置し、19 の主な島と 104 の小さな島で成り立ち、世界文化遺産第 1 号に登録された島であった。

講師の政木さんご自身が撮影された動植物の写真の数々は、色鮮やかさもあって見る人の心をとらえ、何度も足を止めた。島に生息するゾウガメの大きさに驚き逞しさを感じ、イグアナもカラーの美しさに今まで持っていた印象ががらりと変わり、いとおしさを感じた。青い色素を含んだものを食べることで足が青くなるという世界一おしゃれな青い足のアオアシカツオドリ。赤い足のアカアシカツオドリも負けじとおしゃれである。

世界一美しいカモメと言われるアカメカモメ。世界一小さいペリカンのカッシュクペリカン。最も興味を持ったのは、オオグンカンドリである。喉の大きな赤い袋は 1.2 kg を有し、膨らますと 2m、約 10 分間を要すると伺い、思わず「ご苦労さま」と思った。

美しく珍しい生き物が多く生息するガラパゴス諸島は世界遺産第 1 号の名を冠にした島だけのことはある。世界一が多い島である。

しかし、この島も危機遺産リストに登録された時期があった。観光客の増加にともない環境が汚染され自然保護が困難になった。この危機遺産は元の状態にならないと解除されない。そのためには人とお金が必要である。かつて宮島の入島税が検討されたことがあった。うなずける話である。現在、ガラパゴス諸島は危機遺産リストから解除されている。大変な努力を要したと思う。機会があれば訪れてその努力に敬意を表し、世界文化遺産第1号の名にふさわしい環境が保たれることを願いたいものである。

今回の講演は世界遺産からガラパゴス諸島の紹介、環境汚染から自然保護へと自然を守り、保護することの意義の奥深さを感じた講演であった。そして"知らない"ことは新しい知識を得るきっかけであり、関心を広げ深めるものであることを認識した。



広島ユネスコ協会 文化部会長 高田 幸子